

日本天文学会ジュニアセッション 予稿作成のポイント (2025/11/29 山村)

学年の数字、アルファベット、空白は半角、後は括弧等含めすべて全角。

項目タイトルなど、強調したいときは
フォントを大きくする、ゴシックにする、
など。太字、斜字は印刷に問題が起
ることがあるので使わない。

引用・参考文献を明示すること。著者
名、書籍の場合にはタイトル・論文の
場合には文献が特定出来る情報・
ネット情報の場合はURLと閲覧日、
ページ数など。

(例)

野本 憲一、定金 晃三、佐藤 勝彦編、シリーズ現代の天文学7「恒星」、1.8章
Yamamura, I. et al., 2010, ApJ, 722, 682
日本天文学会編、天文学事典、<https://astro-dic.jp/> (2021年12月20日閲覧)

※ URLはハイパーリンクを削除すること。

上下左右余白を3cm以上開ける
(テンプレート・サンプルを使えばOK)

グループ名、部活名があるときは、
冒頭に。全角「:」で区切る。

図表は、文字も含めて画像に
変換してから貼り付ける。文字
は十分大きく(本文の文字と同
程度)

図表番号を振り、必ず本文か
ら引用すること

ジュニアセッション予稿原稿のサンプル

ジュニアセッション予稿作成班：大阪 王子（高2）【青森県立九州高等学校】、埼玉 都（中等3）【愛媛県立天文中等教育学校】

要旨

ジュニアセッションの予稿集作成の要点を、予稿集のスタイルで記述します。予稿集の出来上がりのサンプルとして参考にしてください。実際の作成時には、ジュニアセッションHPに掲載されている「予稿の作成ガイド」[1]を熟読してください。わからない点は遠慮なく、実行委員や世話人に質問してください。

1.はじめに

予稿集は、研究の成果を学会で発表したことを証明する公式な出版物です。自分たちの研究成果が、初めて聞く人にも伝わるよう工夫するとともに、間違いが無いよう注意して作成してください。特に気をつけていただきたいのは、作成した原稿が、予稿集の製本や印刷業者のPC環境で、作成者の期待したとおりに表示されるようすることです。このためには、以下に述べる注意点をよく考えてください。

2.原稿のサイズ、レイアウト

予稿原稿はA4、1ページで作成してください。紙面の上下左右にそれぞれ3センチメートルの余白を取ってください（このサンプルの余白は変えていません）。ページ番号は入れないでください。ページ内でのレイアウト（段組など）に制限はありません。

3.使用するフォントと最小サイズ

原則、Word上で以下のフォントのみをつかってください。Wordが使えない、などそれ以外のソフトを使う場合は、実行委員会に相談してください。どうしてもやむを得なく特殊なフォントを利用する場合には、「フォントを埋め込んだPDF」を作成してください（「予稿の作成ガイド」に推薦されるPDFの作成方法があります）。Wordの機能をつかった文字の変形（文字の効果、ワードアート）は、避けてください。

- 和文 : MSゴシック（この文字）、MS明朝（この文字）、游ゴシック（この文字）、游明朝（この文字）
※プロポーショナルフォント(MS Pゴシック、MP P明朝)は使わないでください。
- 英文 : Arial (This character)、Century (This character)、Cambria Math (This character)
- 文字サイズ : 8ポイント（このサイズ）以上（図中の文字サイズもこれに準ずる）

4.図や表

図・表は、あらかじめ作成したものを、必ず「画像」に変換してから、原稿に貼り付けてください。図1に例を示します。予稿原稿上で直接Wordの作図・作表機能等を用いて作成すると、印刷時にずれことがあります。キャプションや図中の書き込み文字も含めて画像化してください。

予稿集は白黒で印刷されます。白黒で見てもグラフや画像が判別できるか、また文章の意味が通じるかを確認してください（「図中の赤線が……」ではなく、「図中の点線が……」などと書く）。

図表には必ず番号とキャプションを付け、本文から参照してください。

5.発表タイトル、発表者情報

発表者の名前や所属に誤りがあると、正式な発表記録として認められなくなってしまいます。学校名は正式名称で掲載してください。氏名の正式な漢字が文字化けする可能性があるときは、普段使っている表記でもかまいません。「予稿集の作成ガイド」に詳しい表記ルールと例を掲載していますので、よく読んで間違いの無いようにしてください（例年、こことの間違が非常に多いです）。

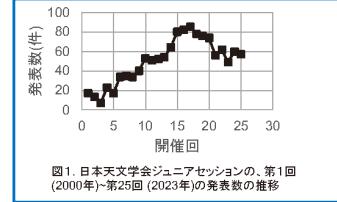
6.まとめ

研究内容を簡潔にわかりやすく示した予稿は、より多くの人に発表を理解してもらい、よい議論をおこなうことにつながります。「予稿の作成ガイド」をよく読み、読みやすく正確な予稿を作成してください。投稿前に、表1に示したチェックリストで確認するといいでしょう。技術的な問題や質問があれば、下の問い合わせ先まで遠慮なく連絡、相談してください。

問い合わせ先： ジュニアセッション実行委員長 山村 一誠（JAXA宇宙科学研究所）
E-mail : jsession@asi.or.jp

参考文献

[1] 第28回ジュニアセッション予稿の作成ガイド、ジュニアセッション実行委員会、<https://www.asj.or.jp/jsession/2026haru/abstract.html> (2025年12月26日閲覧)



開催回	発表数
0	10
5	20
10	35
15	70
20	85
25	70
30	60

図1.日本天文学会ジュニアセッションの、第1回(2000年)~第25回(2023年)の発表数の推移